

【軽米町商工会】経営発達支援事業 評価シート

≪評価基準≫ A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
 D 目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

資料 1

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	30 年度		業 績	評価		31 年度 目 標
		目標	実績		事務局	委員会	
1. 地域の経済動向調査に関すること	①中小企業景況調査等による地域事業者の実態把握	25 社	10 社	ヒアリング調査により業種別の景況を把握した。	C	C	25 社
	②観光施設等との連携による観光客動向調査	1 回 200 件	1 回 203 件	チューリップフェスティバルにて町外からの来場者を中心に需要調査した。	A	B	1 回 200 件
	③アニメ「ハイキュー」聖地巡り観光客に関する調査	2 回 各 50 件	1 回 37 票	2018HIGH キューコスプレフォトロケーションイベントにて特定の観光客の観光動向を調査した。	C	B	2 回 各 50 件
2. 経営状況の分析に関すること	①地域小規模事業者の経営状況・支援ニーズ等のアンケート	285 社	-	計画的な実施に至らなかった。 （平成 31 年度実施予定）	D	D	-
	②経営分析セミナー実施回数 （参加者数）	1 回 (20 者)	1 回 (7 者)	中小企業診断士を講師に経営分析セミナーを開催し、個社の弱み・強み、市場動向等の分析を行った。	C	C	1 回 (20 社)
	③経営分析事業所数	15 社	17 社	セミナー及び個別指導等による経営分析 7 社 記帳代行等による経営分析 10 社	A	A	15 社
3. 事業計画策定支援に関すること	①事業計画作成セミナーの開催	1 回 (15 者)	1 回 (6 者)	中小企業診断士を講師に事業計画作成セミナーを開催し、分析データを基礎に事業所各々が事業計画策定を行った。	C	C	1 回 (15 社)
	②事業計画策定件数 （うち、事業承継計画策定件数）	10 件 (3 者)	11 件 (10 者)	持続化補助金 7 件 県補助金 1 件 経営力向上計画 2 件 業務改善助成金（未申請）1 件	A	A	10 件
	③事業承継個別相談会開催回数	1 回 (3 者)	2 回 (2 者)	上記セミナーと同時開催のほか、個別相談による対応	A	A	3 件
	④創業計画策定支援	1 件	2 件	資金計画等の策定支援を行った。	A	A	1 件
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	①事業計画フォローアップ （フォローアップ回数 3 カ月毎）	10 件 (40 回)	8 件 (32 回)	フォローアップを継続したものの、件数は伸び悩んだ。	B	B	10 件 (40 回)
	②創業者フォローアップ （フォローアップ回数 2 カ月毎）	1 件 (6 回)	2 件 (7 回)	事業計画のブラッシュアップ、税務指導等を行った。	A	A	1 件 (6 回)
5. 需要動向調査に関すること	①首都圏を対象とした需要動向調査の実施（事業者数、アイテム数）	4 社 8 商品	3 社 14 商品	在京軽米会ふるさと総会にて需要動向調査を行った。	A	A	4 社 8 商品
	②イベントでのテストマーケティング（事業者数、アイテム数）	5 社 10 商品	5 社 11 商品	いわて銀河プラザ「軽米フェア」（秋季）に出展し、販売及びテストマーケティングを実施した。	A	A	5 社 10 商品

事業	項目	30 年度		業 績	評価		31 年度
		目標	実績		事務局	委員会	目 標
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に關すること	①かるまいブランド商品認証数（累計）	30 件	31 件	本年度、新たに 2 品目が承認された。	A	A	32 件
	②かるまいフェア出店事業者数・売上目標	5 社 100 万円	5 社 80 万円	いわて銀河プラザ「軽米フェア」（夏季・秋季）に出展し、商品の販売を行った。	B	B	5 社 100 万円
	③地域イベント出展事業者数・売上目標	21 社 110 万円	14 社 70 万円	イベントの開催数が想定より下回り、目標数に及ばなかった。	C	C	21 社 110 万円
	④物産展・商談会の情報提供	2 回	2 回	事業所宛に通知し情報提供した。	B	A	2 回
	⑤商談会参加企業数・成約数	2 社 2 件	5 社 11 件	いわて食の商談会（大阪・仙台・東京）に出展し、新たな販路を確立した。	A	A	2 社 2 件
	⑥ネットショップ登録商品数・売上目標（1 店舗当り）	30 件 80 万円	6 件 －	計画的な実施に至らなかった。	D	D	32 件 100 万円
	⑦「ハイキュー」ガイドマップ掲載事業者数・売上目標（1 社あたり）	15 件 5 万円	16 件 －	計画的な実施に至らなかった。	C	C	16 件 5 万円

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	30 年度		業 績	評価		31 年度 目 標
		目標	実績		事務局	委員会	
1. 地域活性化事業	地域活性化のための意識共有を図る仕組みの構築	-	-	販売促進ツールの創設や個社ごとの支援により、地域経済の活性化に貢献している。	-	-	-
	地域特産品を活用した商品開発とブランド化						
	アニメ「ハイキュー」ガイドマップ作成等による観光需要の開拓						
	ネットショップ構築による需要の開拓						
	地域観光情報の発信強化						
	食をテーマにしたイベントでのテストマーケティング						

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取組

事業	項目	30 年度		業 績	評価		31 年度 目 標
		目標	実績		事務局	委員会	
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	金融機関との資金需要動向・地域経済事情に関する意見交換会	2 回	2 回	研修会や講習会に積極的に参加し情報収集にあたり、職員間で情報共有をした。	A	A	2 回
	管内税理士との税務関連支援ノウハウに関する支援能力向上	2 回	2 回	管内税理士との意見交換を通じ、軽減税率制度や事業承継などの理解を深めた。	A	A	2 回
	管内商工会との連携による地域活性化手法の検討	2 回	2 回	各種研修を受講し、管内商工会等との支援ノウハウを検討・共有した。	A	A	2 回
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	各種研修受講による支援能力の向上	-	-	岩手県商工会連合会の職員向けセミナー、中小企業基盤整備機構の各種セミナー等への参加や専門家派遣の同行等を通じて、資質向上に取り組んでいる。 また、週初めのミーティングでは業務や支援状況等について意見交換をしている。	-	-	-
	専門家の支援ノウハウの習得による職員の支援能力の向上						
	管内商工会と連携した支援ノウハウの共有						
	経営情報の分析結果や支援ノウハウに関する職員会議による情報の共有						
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	軽米町商工会経営発達支援推進会議	1 回	2 回	評価に基づく意見を募り、事業内容の検証を行った。	A	A	1 回
	事務局会議	6 回	50 回	毎週月曜日のミーティングで進捗状況や事業内容等について協議。	A	A	6 回
	正副会長会議	6 回	4 回	情報の共有及び事業の峻別を図っている。	C	C	C
	理事会	3 回	4 回	情報の共有及び事業の峻別を図っている。	A	A	A
	評価結果の公表	1 回	-	次年度に本会ホームページに掲載する。	-	-	1 回